

江刺東中学校

生徒数 93 人
所在地 奥州市江刺玉里字後沢 76-1 ☎ 36-2123



創立40周年を祝って行われた記念式典

江刺東中学校は、江刺地域の中心である岩谷堂から北東へ車で約 15 分の距離にある中学校です。学区の面積は江刺地域の約 40% を占めています。昭和 53 年に玉里、梁川、米里、木細工、広瀬の五つの中学校が統合し、江刺東中学校が誕生しました。

昨年度は、多くの来賓、教職員OBの皆さまにご臨席をいただき、創立 40 周年記念式典と祝賀会を開催しました。不来方高校音楽部に本校の卒業生が在籍していたこともあり、記念事業として同校音楽部のコンサートを企画しました。当日は、音楽部の皆さんの心に響く歌声に魅せられた感動的なコンサートとなり、40 周年に花を添えていただきました。

生徒は、保護者や地域の皆さまの多方面にわたる温かいご支援をいただきながら、意欲的に学校生活を送っています。部活動では、部員数が少ない部も

ありますが、コーチや保護者に支えられて懸命に練習に励み、各種大会で活躍しています。特に、男子バレー部は本年度の県新人



輝かしい成績を残した男子バレー部
大会で準優勝と輝かしい成績を残しました。江刺東中学校では、生徒一人一人が学習・部活動・地域ボランティアなどに、積極的に取り組んでいます。

＊ ＊ ＊ ＊ 総合的な学習の時間 ＊ ＊ ＊ ＊

本校では「人間としてのあり方や生き方を探究する」をテーマに、総合的な学習の時間に力を入れています。本年度は、先生方を対象とした総合学習の東北大会で学校公開を行い、生徒が活動を発表しました。

総合学習の時間には、生徒同士での話し合いや、さまざまな分野の方を講師とした職業講話を行っています。また、施設見学を通じて関係者の話を聞いたり、さまざまなことを体験したりすることで、自分の生き方や職業選択について考えを深めています。

昨年度は「地域活性化」をテーマに取り組んだ 3 年生が、江刺りんごを使用した菓子を作り、カワトク前などで販売しました。生徒たちは、地域の抱える問題について真剣に考え、自分たちができることを実践しています。



総合学習の取り組みを発表しました

地域のために合唱を披露

本校には希望者のボランティアで構成される「合唱推進委員会」があります。毎年、地区の演芸会やデイサービスセンターの夏祭りなどで、合唱を披露しています。なかなか練習の時間がとれませんが、昼休みを活用したり、個々にCDを持ち帰ったりして、練習に励んでいます。皆さんが楽しめるような曲目を考え、振り付けを工夫して本番に臨んだ結果、たくさんの方に喜んでいただくことができました。



大勢の前で合唱を披露しました

学校通信 二

特産品グルメラリーを体験



店舗で熱心に話を聞く生徒たち

各店舗などを訪問した生徒たちは、試食や対話を通して江刺を盛り上げたいという多くの方の強い思いに触れてきました。

本校では、さまざまな取り組みを通して、今後訪れるであろう急速な社会変化に対応できる生徒個々の資質・能力の育成を目指しています。

今年 2 月、総合的な学習の時間の活動で、3 年生が「江刺牛＆江刺りんごグルメラリー」に参加している飲食店や主催の方を訪問しました。

いいとこ、知っとこ おうしゅう

地区センター単位で
各地区を紹介します



稲瀬地区

拠点 稲瀬地区センター（江刺稲瀬
字谷地16-1 ☎ 35-4073）

稲瀬地区は江刺地域の西北部に位置し、北は北上市、西は北上川を挟んで金ヶ崎町に接しています。

当地区では、米やリンゴの先駆的農業に取り組んでいます。また、鹿踊りや神楽などの民俗芸能のほか、安倍氏の拠点であった鶴脛柵や県内最大級の窯跡である瀬谷子遺跡など歴史的価値の高いものが多く残されており、その歴史と風土を生かした地域づくりを推進しています。

稲瀬振興会では、地域の少子高齢化や人口減少が進んでいることから、地域の元気を呼び起こそうと、青年部主催の「いなせ夏まつり」を開催

いなせ夏まつり

昨年 7 月、稲瀬振興会青年部が、女性部と食改善グループの協力の下「第 8 回いなせ夏まつり」を開催し、子どもからお年寄りまで 500 人を超える人が集まりました。



子どもたちに人気の流しそうめん

しています。また、地域の足を守るための「稲瀬ふれあいタクシー」の試験運行や、地域農業を守り育てるために「稲瀬農業の未来を考える会」を設立するなど、地域課題の解決に向けた取り組みを行っています。

とすけもの、おもちゃ・ヨー釣り、大声大会など楽しい催しが目白押し。豪華な賞品が当たる大抽選会は大人気でした。

体育部主催のニュースポーツ大会、25 歳・42 歳年祝連の演舞のほか、消防団第 20 分団によるポンプ操法の実演、火点倒し、子どもたちの消防車乗車体験など、消防団員との交流も行いました。

稲瀬ふれあいタクシー
市では、稲瀬地区の交通空白地における地域住民の移動手段を確保するため、予約型タクシー「稲瀬ふれあいタクシー」を昨年 4 月から試験運行しています。当地区と岩谷堂市街地間を 1 日 3 往復、週 3 日の運行で、料金は 1 回 500 円です。利用するためには事前登録が必要で、現在の登録者数は 59 人、1 日当たりの利用者数は 2 人弱となっています。事前登録者へのアンケートや利用者への直接聞き取りなどを行い、利用しやすい環境の把握に努めています。



地域の足を守る「稲瀬ふれあいタクシー」

今年 4 月以降の試験運行の見直しに反映させていきます。

稲瀬農業の未来を考える会

稲瀬振興会では、稲瀬コミュニティ計画に掲げる「地元の資源を生かした地域づくり」を推進するため、令和 3 年に江刺金札米が誕生して百周年を迎えるこの機会を捉え、昨年 11 月に「稲瀬農業の未来を考える会」を設立しました。地区内在住の 22 人と市地域おこし協力隊 1 人を委員に委嘱。今後、定期的に会議を重ね、①将来の江刺農業の構想②江刺金札米百周年記念事業③地元の資源を生かした新商品開発を柱に取り組んでいきます。



世代を超えたメンバーが稲瀬の農業を考えます